



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした  
天栄だからできる少人数教育

# 教育委員会だより No.94

2019.5.24



愛村心（！尊心）を育む天栄村！

発行：天栄村教育委員会

## 天栄村教育方針説明会

4月26日（金）に開催しました「天栄村教育方針説明会」。村内全ての幼稚園、小学校、中学校の教職員が参会し、今年度の教育方針並びに重点施策等について教育委員会より説明しました。また、後半の部では、村内3名の教職員による優秀実践報告が行われ、新学習指導要領の主旨を踏まえた教育指導の在り方や村のむし歯や肥満、食育等の課題と実践について報告がありました。



このような機会を設けることは、村の教職員が教育施策の主旨と意味について理解を深めるために大変重要なことだと考えております。そして、教育スローガンである「村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ」を具現していくことにもつながっていきます。教育は「目の前の子ども」のために行われるものです。教職員全員が同じ眼差しで、同じ思いで、同じ願いで天栄の子どもたちを育てていきましょう！

授業こそ学校の命。子どもと向き合う時間をじっくり・たっぷりともつことのできるのは授業ですね。「できた！」と喜ぶ姿、「先生、次は〇〇をやってみたい！」と学びを自ら獲得しようとする姿、「〇〇さんの考えを生かして・・・」「〇〇さんが教えてくれたから・・・」とその学級だからこそ味わえた学ぶことよさを実感する姿など、子ども一人一人の学びの変容を見取り、学びが高まっていく過程や姿を楽しみにしていくことが授業改善の第一歩なのではないでしょうか。教育方針説明会でもお話しさせていただきましたが、「主体的・対話的で深い学び」をさせることが目的ではありません。教師が日々の授業を見直す視点です。日々の授業を改善していくためには、見つめる視点が必要です。「育みたい資質や能力」「働かせたい見方・考え方」を整理し、授業に臨むこと、そして、子どもたちに何が育まれたか、何を働かせたかを子どもの学びの姿を基にした見直しがより一層求められてきています。

### ～授業改善のポイント その①～

- ☆ 子どもたちの内面から湧き上がる「分りたい」「できるようになりたい」「やってみたい」「こうしたい」「話したい」など「〇〇したい」といった「問い」を引き出すようにしていきましょう。
- ☆ 育みたい資質や能力、働かせたい見方・考え方を明確にし、その視点で子どもの学びの変容を見取り、称賛し、価値付け、その学び方のよさを周りの子どもに広げていきましょう。
- ☆ 授業の終末では、「この時間で何をどのように学んできたか」といった、学びのストーリーを振り返ることも大切です。

教育方針説明会で行った「パー・グー」の動き。実際にやってみると「あれ？」「どうしてできないのかな？」など違和を感じ、「どうしたらできるのかな？」といった問いをもったことでしょうか。説明会では話し合う時間がとれませんでした。問いをもったその時、周り話し合う価値が生まれ、周り話し合う意味をもつのです。そして、話し合ったことをいろいろ試し、実感を得る。これこそ対話の姿であり、「問い」と「対話」「深い学び」はつながっているのです。

### ～働き方を見つめ直す～

教育現場は、先生方の情熱と熱意によって支えられていると言っても過言ではありません。しかし、働き方改革の話題がニュースや新聞で取り上げられ、特に学校における時間外勤務の多さは、大きな課題となっています。教育委員会としても、各種研修や行事等の日数や内容の見直し、発出する文書の精選、地域人材の活用を推進する枠組み作り等によるに取り組んでおりますが、まだまだ取り組むべきことは数多く残されていると感じています。ある雑誌に今週または今日処理する業務を洗い出し、職員室のボードに付箋を貼ることで、業務内容を可視化し、時間外勤務時間が減少している学校の取組の例が紹介されていました。チーム天栄として、効果的な取組例があった場合には、共有し、実践していきたいと考えています。



## 生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

### ○天栄村体育協会総会

4月24日（水）生涯学習センターを会場に令和元年度天栄村体育協会総会が行われました。総会に先立ち、昨年度に優秀な成績を収めた個人や団体の表彰が行われました。

総会では、昨年度の報告及び今年度の事業について決議を行い、可決されました。村のスポーツ振興を図る為、今年度も積極的に活動していきます。



### ○寿大学開講式

5月13日（月）に、生涯学習センターにおいて、令和元年度高齢者学級「寿大学」の開講式が開催されました。セレモニーでは村歌「伸びゆく天栄」の斉唱や、生涯学習課長のあいさつがありました。

また、セレモニー終了後には、毎月行う「ラジオ体操」を福島県ラジオ体操連盟会長である作田美代さんを講師に招き、正しい動きを勉強しました。

今年度は学生28名で、健康に留意しながら、元気に活動していきます。



### ○文化財保護審議会・ふるさと文化伝承館運営協議会

4月24日（水）に生涯学習センターにて、令和元年度文化財保護審議会・ふるさと文化伝承館運営協議会が開催されました。

文化財保護審議会では今年度の文化財パトロールの計画や村指定文化財の説明看板の修繕や消火器の更新について協議しました。ふるさと文化伝承館運営協議会では、新規事業として「大人の歴史学び教室」の開催や小学生を対象とした歴史学び教室において、羽鳥トンネルの見学を追加するなど、伝承館事業の運営について話し合いが行われました。

今年度も、村の文化財の保護に努めてまいります。